



園だより

令和7年 5月 30日
磐田市立磐田北保育園

<保育目標> **たくましい子** <重点目標> **元気な子 やさしい子 工夫する子**

毎日、子ども達の楽しい声や笑い声が響いています。子ども達の声に応えたり、見守ったりする職員の姿に 温かい空気が流れているのを感じます。子ども達が自分から興味や関心を持ち、遊び始め、夢中になって遊んだり、友達との会話を楽しんだり、友達と楽しさを共有し笑顔でみつめあったり毎日存分に遊びこんでいます。お家の方には毎日泥んこ服の洗濯や準備のご協力をありがとうございます。子ども達が楽しく遊べることに繋がります。引き続きよろしくお祈りします。



夢中になって遊ぶ



気付いたことや考えたことを伝え合う



友達と同じ経験を
するうれしさ

協力して遊ぶ

関心をもって遊ぶ



友達と一緒にいることが心地よいと感じながら遊ぶ



なんだろう??

主役は子ども達

舞台裏では・・・

今日もたくさん遊んだね!



『洋服めくって洗うよ。』声掛けをしてから手伝います



子ども達が、砂や泥でたっぷり遊んだ後は、カーテン内では、子ども達の身体洗い、汚れた服の片付け、着替えの手伝いを行います。カーテンをすることで**子ども達の権利**を守っています。磐田北保育園では0歳児から**人権を大切に保育**を行っています。

美化活動

ありがとうございました

園庭、プール周り、駐車場の草取りありがとうございました。子ども達、保護者が気持ちよく使うことができます。

保護者の皆さんに支えていただいているおかげで、安心した園生活を送れています。



裁縫ボランティアさん

ありがとうございました!



園で使用する雑巾や遊びに使う小物を作るために8名の方が来園してくださいました。大切にに使わせていただきます。

ふじ組はしゅっぱいダンスを見ていただき、拍手をたくさんもらいました。

自分の体の大切さを考える

『自分の体は大切。水着になって隠れる部分は自分だけの大切なところ。人に見せたり、触らせたりしないようにしましょう。』という内容で、自分の体、他の人の体に対しての理解を深めるために、視覚的な教材を使ってふじ組に伝えました。

『触らない』『見ない』『プライベートゾーン』の言葉が子ども達の頭に残ったようです。5歳児でも自分の体のことを真剣に考える姿が見られました。大人も子ども達に向き合い、大切なことを知らせていく必要性を感じました。



交通安全教室(うめ、さくら、ふじ組)

交通指導員さんに、道路の歩き方や渡り方を教えていただきました。実際に道路に出て歩く練習をしました。

駐車場と保育園の行き来時に手をつないで歩くことや、手を挙げて横断することを毎日一緒にやってみましょう。自分の命を守ることの大切さは繰り返し伝えていきたいですね。



支える役目は・・・保護者・地域の方・職員



6月行事予定



日	曜日	内容
1	日	
2	月	体重測定（以上児）
3	火	体重測定（未満児）
4	水	きたっこデー（全園児）
5	木	食育教室（ふじ）
6	金	お楽しみ会
7	土	希望保育
8	日	
9	月	はみがき教室（ふじ）
10	火	磐田北幼稚園との交流（ふじ）
11	水	
12	木	ライブラリーデー（ふじ）
13	金	避難訓練
14	土	希望保育
15	日	
16	月	
17	火	プール開き
18	水	磐田北幼稚園との交流予備日（ふじ）
19	木	歯科検診 9時～
20	金	
21	土	希望保育
22	日	
23	月	個人面談 ～7/31
24	火	園庭開放・園見学
25	水	
26	木	民生委員との懇談会
27	金	
28	土	希望保育
29	日	
30	火	

＜ふじ組持ち物＞
エプロン・三角巾・マスク

＜7月の主な行事予定＞

- 1日（火）：就学時視力聴力検査（ふじ）
- 7日（月）：七夕会 おたのしみ会
- 14日（月）：夏祭り（保護者会）
ハイチーズ撮影
- 16日（水）：避難訓練（起震車）
- 29日（火）：園庭開放・園見学

お願い・お知らせ

- 以前にもお知らせしてありますが、気管支拡張薬、虫除けシール等を家庭から貼ってくる場合は、テープ、シールに記名をし、貼っていることを職員に伝えてください。
- 保護者の勤務先、勤務場所の変更があった場合は、職員室までお知らせください。
- 5月は、園への意見や要望はありませんでした。



子ども達の『安全』を守るために

毎年、職員は、磐田消防署協力のもと、心肺蘇生法の講習を受けています。

胸骨圧迫、119番通報、AEDの手配と操作等の役割を分担し、一次救命処置の訓練を実施しました。いざという時に慌てず、対応できるように学びました。



5月29日（木）は引き渡し訓練ありがとうございました。保護者の方が真剣に参加してくださったので、子ども達も真剣に訓練に臨んでいました。

災害はいつ起こるかわからないので、この訓練をきっかけに家族間で災害が起きた時に連絡の取り合い方や子どもの迎え等について話し合ってみてください。

